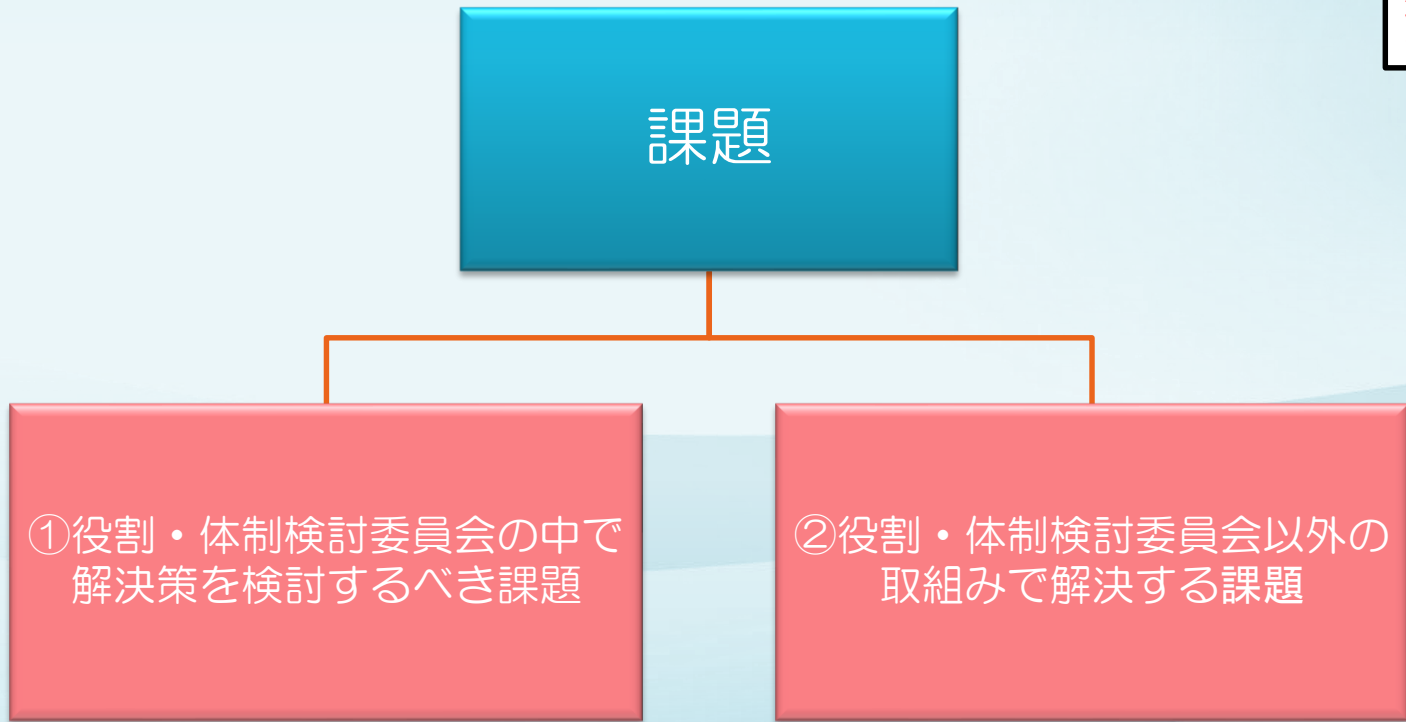


●公立保育所の課題の整理について

資料3

下線部は前回資料から追加した部分



●今後の検討の流れ

①課題の整理 (概ね第5回会議まで)

- ・視察、意見交換や施設、事務局からの説明を踏まえ、公立保育所の課題、私立保育所の課題、地域の課題を整理する。

②公立保育所の 役割の検討 (概ね第6回会議まで)

- ・①の課題を解決し、市の保育の質を向上させるための公立保育所の役割を検討する。
- ・検討は、具体的で実効性の高いものとなるよう、市の役割、国の方針、先進市の取り組みなどを踏まえて行う。

③公立保育所の 体制の検討 (概ね第8回会議まで)

- ・②の役割を担うために必要な体制を検討する。
- ・持続可能な体制となるよう、職員数や財源管理の視点も踏まえた検討を行う。

※ 保育の質

- ①保育内容
- ②保育環境
- ③労働環境

● 公立 保育所の課題の整理

① 職員管理の複雑化（※主に②③に影響）

民間と比較して職員数及び職種が多いことから、職員を管理する園長・副園長への負担が大きい。

- ・雇用形態により、業務内容や責任の範囲に違いがあり管理が煩雑。勤務時間の長さや業務の重さが比例するものではないことも、現場管理の複雑さの一因となっている。
- ・有期雇用の職員の場合、長年かけて保育理念を共有していくなどの作業が困難。

公立保育所ならではの課題

※ 保育の質

- ①保育内容
- ②保育環境
- ③労働環境

● 公立 保育所の課題の整理

② 正職員の負担増(※主に①③に影響)

クラスごとに配置されている正職員の割合が少ないため、以下のような課題が生じている。

- ・書類作成(カリキュラム等)や保護者対応に関して、正職員にかかる負担が大きく、保育に関わる時間が確保できない。
- ・一方で、早番、遅番等の当番については、正職員が少ないことから1人/1日の配置となっており、送迎時の保護者対応等は、時間外の会計年度任用職員が行っている。
- ・正職員の人数が少ないため、シフトの調整が困難。
- ・経験の浅い正職員でも責任のある仕事を任されてしまい、育成の機会が少ない。

公立保育所ならではの課題

※ 保育の質

- ① 保育内容
- ② 保育環境
- ③ 労働環境

● 公立 保育所の課題の整理

③ 事務作業の負担（※主に③に影響）

保育計画や日々の保育記録等事務作業にかかる負担が増加している。

→「保育士の魅力ある働き方推進」の取組みにおいて、令和4年度に登降園システムの導入やタブレットの導入などICT化の推進を行った。各園において、引き続きICT化推進による業務効率化を進めていく。

公立・私立共通の課題

※ 保育の質

- ①保育内容
- ②保育環境
- ③労働環境

● 公立 保育所の課題の整理

④ 支援の必要な児童(加配児)の公立保育所への偏り (※主に①②に影響)

加配児を受け入れるためには、基準上の保育士数に加えて保育士を配置する必要があるが、公定価格の制度上、私立保育所等での受入には限界があり、公立保育所で多くの児童を受け入れている。

加配児の受入の偏りにより、以下のような課題が生じている。

- ・保育室に保育士の数が多いため、児童が依存的になったり指示待ちになったりしやすい。
- ・本来の基準以上の数の保育士が配置されることから、保育室が手狭になる。
(保育環境の悪化)
- ・各私立園の規模に応じて、加配児の受け入れ枠を設定し、加配児を受け入れた場合、枠の範囲内での受け入れに対して財政的な支援を行っている。(市の単独補助事業)

公立保育所ならではの課題？

※ 保育の質

- ①保育内容
- ②保育環境
- ③労働環境

● 公立 保育所の課題の整理

⑤ 慢性的な保育士等の職員不足（※主に③に影響）

会計年度任用職員や任期付職員は、年間を通じ募集し続けている状況。また、保育士だけではなく調理員の雇用も困難な状況。

- ・白井市では、保育士確保施策として、保育士の処遇改善のための賃金補助、家賃補助、駐車場補助の実施、毎年1回保育士就労合同説明会を実施している。
- ・令和4年度に「保育士の魅力ある働き方の推進」の取組みの中で、市内保育士へのアンケートを実施し各園の就労環境等の実態把握等の取組みを実施している。
- ・令和5年度においても、保育士交流会などの取組みを行い、現場の保育士が保育環境などを改善するための取組みを提案するための仕組みづくりを構築していく。

公立・私立共通の課題

● 公立 保育所の課題の整理

※ 保育の質

- ① 保育内容
- ② 保育環境
- ③ 労働環境

⑥ 育成機会の確保とキャリアデザイン(※主に①に影響)

日々の業務に追われ、研修等の育成機会の確保が難しい。また、昇格に関し試験制度が導入されていないこともあり、キャリアデザインが描きにくい。

- ・ 資格のない職員(時間外保育士等)に対する研修の機会を設けることが困難。
- ・ 時間外の正規職員の配置を増やして指導の機会を確保したいが、日中の正規職員を今より減らすことができない。

公立保育所ならではの課題？

● 公立 保育所の課題の整理

※ 保育の質

- ① 保育内容
- ② 保育環境
- ③ 労働環境

⑦ 保育以外の求められる役割

保育所には、一時保育や地域子育て支援センターといった、保育所以外の機能も求められている。

→これらのサービスでは、複雑な事情のある家庭への支援等が求められることがあるため、経験や責任ある職員の配置が必要。

公立・私立共通の課題